

第①回
**小中をつなぐ
ポイント**

小中連携は、英語教育の大きな課題の一つです。この連載では6回に分け、小学校と中学校の学びをどのようにつないだらいいのか、そのヒントを述べていきたいと思ひます。第1回では、小中連携のポイントを三つ挙げ、それぞれを説明します。

小中連携のポイント

POINT 1 **何を学ぶ
(What to learn)**

POINT 2 **どう学ぶ
(How to learn)**

POINT 3 **CAN-DO**

1. 何を学ぶ(What to learn)でつなぐ

小学校で何を学んできたのか(体験してきたのか)を知ることが、まず小中連携のいちばん大切なポイントです。そのために望ましいことは、実際に小学校の授業を参観することや、小学校の先生の話を書くことですが、お互いに忙しく、見ることができない、または見ることができても年間1、2回というのが現状ではないでしょうか。話を聞くとしても状況は同じでしょう。

そこで「何を学んできたのか」を知るために手軽にできることは、『Hi, friends!』のような小学校の英語の授業で使われている教材を見ることです。

例えば、単語では、教科名、スポーツの名前、食べ物・飲み物の名前などを、活動を通して学びます。他にも外来語になっている単語を含め、音声を通して多くの単語を学んでいます。

このことを知っていると、中学校ではどのように授業でつなぐことができるでしょうか。キーワードは「引き出す」。生徒たちから小学校で学んできた英語を引き出すことです。

例えば、自己紹介をする活動では、I like ~. / I don't like ~. / I play ~. など、自己紹介をする文を示すときに、下の絵のように、小学校で扱った単語を引き出します。



2. どう学ぶ(How to learn)でつなぐ

小中連携のための二つ目のポイントは「どう学ぶ(How to learn)でつなぐ」ことです。つまり、小学校での英語の学び方を、中学校でも意識すること。そのためには、授業を見るのがいちばんですが、それができない場合は、アンケートを取るなどして知ることをおすすめします。

小学校での授業の特徴の一つは、先生が可能な限り英語で授業を進めていることです。このような授業では、児童はどのようにして英語を学んでいるのでしょうか。キーワードは「推測」。児童たちは、先生が伝える英語の意味を推測しながら聞いています。「推測しながら聞く」という学び方は、曖昧さに耐え、わかるところから意味を理解しようとする、とても大切な姿勢です。このような姿勢を身につけた学習者は、言語習得にとって最も大切なインプットを、より多く得ることができます。

中学校では、先生のsmall talk, 教科書本文の概要把握などの場面で、推測する学び方を継続していけるでしょう。Unit全体の概要を把握する活動*は、この学び方をつなぐのに最適です。

3. CAN-DOでつなぐ

小中連携のための三つめのポイントは、「CAN-DO」でつなぐことです。つまり、小学校で英語を使って「何ができるようになったか」、または「何ができつつあるか」を知り、それをつなぐことです。ここでのキーワードは「できつつある」。言語の学びは、「できる」「できない」の0%か100%ではありません。「できつつある」段階を知ろう、見ようとするのが大切です。

いちばんいいのは、小学校のCAN-DOリストを見て、小学校の先生方から何がどの程度で



*『COLUMBUS 21』(光村図書), 1年生 Unit 10の扉。Unitの概要を掴むため、絵の並べ替えのタスクがある。

きるのか、できつつあるのかを聞くことだと思ひます。それが難しい場合は、使っていた、『Hi, friends!』のような教材を見て、生徒にアンケートを取るといいでしょう。それに加え、小学校で行った活動を、実際に教室で行って生徒がどのくらいできるかをモニターすることもおすすめです。

新入生のCAN-DOを測るためには、例えば次の活動をするのはいかがでしょうか。

- 聞く姿勢・力を見るには…small talk
- やりとりする姿勢・力を見るには…小学校で習った文法や語彙を使ったインタラクション、ALTとの1対1のおしゃべり
- 発表する姿勢・力を見るには…自己紹介ミニスピーチ

次号では、「1.何を学ぶ(What to learn)でつなぐ」を、さらに詳しくご紹介します。

太田 洋
おおた・ひろし
東京家政大学教授
東京都生まれ。2002年東京学芸大学大学院修了。東京都の中学校、東京学芸大学附属世田谷中学校教諭、駒沢女子大学教授を経て現職。中学校英語教科書『COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE』(光村図書)の編集委員を務める。